

平成30年度 第50回 日本PTA東北ブロック研究大会
第44回 秋田県PTA研究大会



秋田大会

第2次案内

平成30年

9月15日〔土〕・16日〔日〕

東北ブロックPTA会員の皆様へ

東北各地では木々の緑が鮮やかな季節となり、しだいに本格的な夏の訪れを感じられることとなりました。

秋田市でも、千秋公園のお堀の蓮がピンクの大きな蕾をつけ、夏を迎える準備をしているように見えます。

さて、今年度の研究大会は、東北ブロック研究大会が始まって50回を迎える記念の大会です。

また、東日本大震災の年に行われた第43回の秋田大会から7年を経過し、東北各地を一巡しての大会となり、お迎えする本県の会員も現在張り切って準備を進めております。

東北の会員の皆様が思う存分語り合い、気づき、学び、交流し、子どもたちや我々の未来に向けて有意義な大会になるよう願っています。

多数の皆様のお越しを、秋の実りの時期を迎えた伝統と豊かな文化の残る秋田の地でお待ちしております。

趣旨

今日、子どもたちを取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。物が豊かになり、さまざまな面で便利になる一方で、新たな課題が次々と生まれ、PTAの役割に対する期待はますます大きくなっています。子どもたちの健やかな成長を図り、自律心を育むために、私たちは何を捉え、何を学び、どう行動すればよいのか。東北各地から互いに課題を持ち寄り、明確な目的意識を持って研究討議をしようではありませんか。ここに、未来を拓く子どもたちのためにともに手を携え「秋田の学び」を開催します。

大会 主題

つながろう東北 深めよう絆 美の国秋田で学びあおう ～未来を拓く子どもたちのために～

主催

東北ブロックPTA協議会、秋田県PTA連合会

主管

秋田市PTA連合会

後援 (予定)

文部科学省 公益社団法人日本PTA全国協議会 秋田県 秋田県教育委員会 秋田市 秋田市教育委員会 秋田県小学校長会 秋田県中学校長会 秋田県小・中学校教頭会 秋田県高等学校PTA連合会 朝日新聞秋田総局 毎日新聞秋田支局 読売新聞秋田支局 産経新聞秋田支局 秋田魁新報社 河北新報社 北羽新報社 NHK秋田放送局 ABS秋田放送 AKT秋田テレビ AAB秋田朝日放送 エフエム秋田

会場

全体会／秋田市文化会館
分科会／第1分科会：秋田県JAビル 大ホール
第2分科会：秋田拠点センターアルヴェ 多目的ホール
第3分科会：秋田市にぎわい交流館AU 展示ホール
第4分科会：秋田市中央市民サービスセンター センタース 多目的ホール
第5分科会：秋田市にぎわい交流館AU 多目的ホール
特別分科会：秋田市文化会館 小ホール

日程

[大会1日目] 9月15日(土)				
	12:00	13:00		16:30
	受付	分科会		
[大会2日目] 9月16日(日)				
8:30	9:00	9:20	10:45	12:15 12:45
受付	アトラクション	開会行事・表彰式・次期開催地挨拶	記念講演	閉会行事

参加者 参加費

東北各県・仙台市PTA会員並びに関係者 1,800名
3,500円

**記念
講演**



橋本五郎氏 読売新聞特別編集委員

【プロフィール】

秋田県琴丘町（現三種町）生まれ。
1970年慶應義塾大学法学部政治学科卒業。同年読売新聞入社。
2001年2月読売新聞編集委員、2006年12月から現職。
日本テレビ「スッキリ」、読売テレビ「ウェークアップ!ぷらす」同「情報ライブ ミヤネ屋」、ABS秋田放送「五郎が斬る!」などに出演している。
2014年度日本記者クラブ賞を受賞。

【著書】

『心に響く51の言葉』（中央公論新社）
『総理の覚悟』、『総理の器量』（中公新書ラクレ）
『「二回半」読む』『範は歴史にあり』（藤原書店）他

【演題】

～ 対談 ～
**未来を拓く
子どもたちのために**

講師紹介



菊池桃子氏 女優・戸板女子短期大学客員教授

【プロフィール】

1984年芸能界デビュー。
幅広い芸能活動と一男一女の母として子育てを両立する傍ら、2012年3月法政大学大学院政策創造専攻修士課程修了。
その後、母校である戸板女子短期大学の客員教授としてキャリア教育の講義を担当している。
研究分野は、「雇用政策を踏まえた人々のキャリア形成」。

【著書】

「午後には陽のあたる場所」（扶桑社）

コーディネーター
秋田県PTA連合会 顧問
加藤寿一氏



大会参加申込みの流れと締切日

《申込み》メールまたはFAX



《資料割引券・宿泊券》



分科会・研究内容と討議の視点

分科会	第1分科会 組織・運営	第2分科会 会員意識の向上	第3分科会 心の教育	第4分科会 健全育成	第5分科会 地域連携
会場	秋田県JAビル 大ホール	秋田拠点センター アルヴェ 多目的ホール	秋田市にぎわい交流館AU 展示ホール	秋田市中央市民サービスセンター センタース 多目的ホール	秋田市にぎわい交流館AU 多目的ホール
研究内容	学校再編に伴う PTAのこれから	「対話」言葉で築く コミュニケーション	家庭と学校と地域で 考える心の教育	健康な身体づくりから 考える健全育成	郷土文化がつける 地域連携
討議と視点	学校の統廃合により、PTA組織も新しくなるのだが、今までの環境の違い等により、発足から運営、役員を選出等、多くの問題がある。学校再編に伴うPTA組織の在り方を事例を聞くとともにこれからを考える。 ①新しい組織作りの取り組み ②「地域の学校」を作るためのPTAの活動の在り方 ③統廃合による各学校の保護者のPTA運営に対する考え ④PTA活動への参加数減少への対応	子どもたちや、子どもを取り巻く環境にいる様々な大人たちといかにか「想い」のあるコミュニケーションを築いていくか、自分たちの状況や活動を、顔を合わせ、言葉を交わし、語り合うことで、見て、聞いて、理解し、考え、伝える、という「対話」ができていくか再認識するとともに、相手を想いあえる関係作りをPTAとして学び合う。	現代の子どもたちは、急速に発展するIT環境の中で育ったため家庭・学校・地域の関係が希薄になっている。 地域と連携するには、心の「心」コミュニケーションが必要と考えPTAとしてその在り方を考える。 ①家庭・学校・地域を結ぶコミュニケーション ②ITと子どもの家庭の関わり ③心の教育とは	食生活や子どもを取り巻く社会状況の変化により、小児肥満が増えている。子どもの健やかな成長について、親としてどのように関わらべきか考える。 ①実際のデータから見る小児肥満の現状 ②なぜ小児肥満が増えたのか問題点を探る ③子どもの健全な成長について、親としてどう取り組むか	少子高齢化が進む中、郷土地域文化を子どもたちに伝えるため、各地区で様々な地域と学校の協働活動が行われている。その活動にPTAとしてどうかかわっていくか、その役割と在り方を考える。 ①子どもの地域を愛し、誇れる気持ち育てる ②PTAがつつまやくとなり、世代間交流を図る ③保護者も地域の一員として関わる
研究形式	基調講演と パネルディスカッション	ワールドカフェ	基調講演と パネルディスカッション	基調講演と パネルディスカッション	実践発表と パネルディスカッション
その他 基調講演者	(基調講演) 群馬県立女子大学 文学部 英米文化学科 教授 佐々木 尚毅	(総括) 秋田県立大学システム科学 技術学部経営システム工学科 准教授 嶋崎 真仁	(基調講演) 命の授業 腰塚 勇人	(基調講演) 元NHK「ためしてガッテン」 演出担当デスク 北折 一	
コーディネーター	秋田県湯上市・南秋田郡 PTA連合会 会長 藤田 達光		秋田県教育庁生涯学習課 社会教育主事 森川 勝栄	秋田県横手市PTA連合会 元会長 佐藤 学	秋田県大仙市PTA連合会 会長 笠原 基嗣 秋田県大仙市立仙北中学校 副会長 佐々木 千秋
パネリスト	○宮城県大崎市立 岩出山小学校PTA 副会長 曾根 基 ○山形県酒田市立 松山小学校PTA 会長 齋藤 純 ○秋田県井川町立 井川義務教育学校 PTA副会長 工藤 智経		○宮城県仙台市立愛子小学校 錦ヶ丘小学校支援地域本部 スーパーバイザー 安藤 直美 ○福島県PTA連合会 前副会長 橘 文紀 ○青森県三沢市立 おおぞら小学校 父母と教師の会 副会長 田中 継美 ○秋田県湯沢市 プロスキーヤー 兼子 佳代	○青森県東通村立 東通小学校 栄養教諭 飛内 美津子 ○秋田県横手市立 横手南中学校 PTA前会長 坂上 喜也 ○秋田県横手市立 横手北中学校 養護教諭 高橋 和恵	○宮城県PTA連合会 元理事 門間 浩泰 ○(一社)岩手県PTA連合会 前会長 五十嵐 のぶ代 ○福島県PTA連合会 前副会長 安藤 敦 ○秋田県大仙市立 豊成中学校PTA 副会長 高橋 大輔 ○秋田県美郷町立 美郷中学校PTA 研修部長 藤岡 誠人 ○秋田県仙北市立 角館中学校PTA 副会長 菊地 道彦
会場責任者	(運営責任者) 宮城県PTA連合会 会長 杉山 昌行 (会場責任者) 秋田県	(運営責任者) 山形県PTA連合会 会長 佐藤 博之 (会場責任者) 秋田県	(運営責任者) 福島県PTA連合会 会長 菅田 憲孝 (会場責任者) 秋田県	(運営責任者) 青森県PTA連合会 会長 外崎 浩司 (会場責任者) 秋田県	(運営責任者) (一社)岩手県PTA連合会 会長 田口 昭隆 (会場責任者) 秋田県

2018年6月9日現在

分科会	研究内容	討議と視点
特別分科会 秋田市文化会館小ホール	イクメン時代の家庭教育	現代の子育て環境に必須といわれている「イクメン」を中心に男性(父親)・女性(母親)の両方の立場から、男女共生時代の家庭教育のあり方について考える。 ①父親の子育てへの関わり方 ②仕事・家庭・子育てを両立させるためにはどうすればよいか ③子どもの学力と家庭(夫婦)環境について
研究形式	基調講演者・その他	コーディネーター
基調講演と パネルディスカッション	(基調講演) 秋田イクメンネットワーク 本田 正博	秋田県PTA連合会 顧問 加藤 寿一
パネリスト	運営責任者・会場責任者	
○仙台市PTA協議会 顧問 佐藤 美佳子 ○(一社)岩手県PTA連合会 前副会長 中村 岳史 ○秋田市PTA連合会 元副会長 宮本 弘樹	(運営責任者) 仙台市PTA協議会 会長 五十嵐 智浩 (会場責任者) 秋田県	

会場案内

全 体 会 / 秋田市文化会館 〒010-0951 秋田市山王七丁目3-1	☎018-865-1191
分 科 会 / 第1分科会 : 秋田県JAビル 大ホール 〒010-0951 秋田市山王七丁目3-1	☎018-864-2055
第2分科会 : 秋田拠点センターアルヴェ 多目的ホール 〒010-0002 秋田県秋田市東通仲町4-1	☎018-836-4290
第3分科会 : 秋田市にぎわい交流館AU 展示ホール 〒010-0001 秋田県秋田市中通1丁目4-1	☎018-853-1133
第4分科会 : 秋田市中央市民サービスセンター センターS 多目的ホール 〒010-8560 秋田県秋田市山王1丁目1-1	☎018-888-5640
第5分科会 : 秋田市にぎわい交流館AU 多目的ホール 〒010-0001 秋田県秋田市中通1丁目4-1	☎018-853-1133
特別分科会 : 秋田市文化会館 小ホール 〒010-0951 秋田市山王七丁目3-1	☎018-865-1191



無料駐車場一覧

A 大町イベント広場 秋田市大町2丁目3-27	B 県共同駐車場 秋田市八橋南1丁目3-15
C 秋田地方裁判所 秋田県秋田市山王7-1-1	D 秋田市役所 秋田県秋田市山王1丁目1-1
E 秋田合同庁舎 秋田市山王七丁目1番3号	F 秋田市文化会館 秋田市山王七丁目3-1
G 秋田県JAビル 秋田市八橋南二丁目10番16号	※無料駐車場の詳細については、参加関係書類等でお知らせします。 ※大型バスの駐車場については、秋田大会実行委員会事務局までお問い合わせ下さい。

秋田大会実行委員会事務局

秋田県PTA連合会事務局(秋田県生涯学習センター内)

〒010-0955 秋田市山王中島町1-1 TEL:018-864-8975 FAX:018-824-7935

URL: <http://www.akita-pta.jp/50tohoku/> E-mail: pta-akita@helen.ocn.ne.jp



E1806089